

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道 406号 村山橋 <small>むらやまはし</small>	事業区分 一般国道	事業主体 長野県
起終点 自：長野県長野市大字中俣 <small>ながの なかまた</small> 至：長野県須坂市大字高梨 <small>すざか たかなし</small>	延長 2.2 km	
事業概要 一般国道406号は、長野県大町市から群馬県高崎市に至る延長約13.4kmの幹線道路である。村山橋は、一般国道406号の交通混雑の解消及び老朽橋の解消を目的とした延長2.2kmの4車線道路である。		
H2年度事業化	都市計画決定 平成3年 3月	H4年度用地着手
H10年度工事着手		
全体事業費	約21.5億円	事業進捗率
計画交通量	27,000 台/日	供用済延長
費用対効果分析結果	総費用 (残事業)/事業全体 47/224億円 事業費：45/222億円 維持管理費：2/2億円	総便益 (残事業)/事業全体 378/378億円 走行時間短縮便益：387/387億円 走行費用減少便益：7/7億円 交通事故減少便益：-16/-16億円
B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 8.2	基準年 平成16年	
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度が20km/h未満が改善） ・国土・地域ネットワークの構築（隣接した日常活動圏中心都市間を連絡が改善される） 他5項目に該当（客観的評価指標含む）		
関係する地方公共団体等の意見 ・長野市及び須坂市から早期の全線開通を望む要望がある。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・特になし		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成16年に上流側2車線を部分供用し、アクセスが向上した。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・未完成の下流側橋梁工事を進めており、平成22年度全線開通予定である。		
施設の構造や工法の変更等 ・地盤改良の範囲等見直し、コスト縮減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 ・以上の状況を勘案すれば、残工事を実施することにより、当初の目的が達成されると考えられる。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。